

基本評価シート

様式

北海道 真狩・留寿都区域

(北海道後志総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

| | | | |
|---------|---|-------------------|------------------------|
| 事業名（※1） | 北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ） 令和5年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業（効率的捕獲促進事業 真狩・留寿都地区）委託業務 | | |
| 都道府県名 | 北海道 | 担当者部・係名 | 後志総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係 |
| 担当者名 | 佐藤公一 | 担当者連絡先 | 0136-23-1354 |
| 捕獲実施事業者 | 北海道猟友会・構研エンジニアリング受託コンソーシアム （認定を受けている） | 予算額（※2） | 198,199,000円 |
| | | 予算額の内捕獲に要する経費（※3） | 98,729,000円 |

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

| 事業目標 （目標頭数などの数値目標） | 実施結果 | |
|-----------------------|------|-------|
| | 捕獲頭数 | 目標達成率 |
| 40頭 | 18頭 | 45% |

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

| 推定生息頭数 | 特定計画管理目標 | 目標生息頭数 |
|--|---|-------------|
| 72万頭※ （個体数指数：東部137、北部121、中部107、南部353） | 東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる | 設定していない |
| 狩猟捕獲数 | 許可捕獲（有害） | 許可捕獲（個体数調整） |
| 34,396頭（R4） | 58,581頭（R4） | 52,012頭（R4） |

※令和3年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3～15万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

| 項目 | 概要 |
|----------|---|
| 事業背景・目的 | <p>エゾシカによる被害を防止するため、個体数の削減に取り組んできた結果、生息数は平成23年度の約77万頭から、令和4年度は約72万頭まで減少したと推定しているが、いまだ高水準にあり、農林業被害も依然として深刻な状況。また、採食や踏み付け攪乱による表土流出や生態系への影響も懸念されている。</p> <p>さらに近年では、捕獲圧の高まりにより、鳥獣保護区などにエゾシカが逃げ込むなど捕獲困難な状況が見られる。</p> <p>このため、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な箇所において、道が計画的にエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。 <input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。 ※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p> |
| 人材育成の観点 | <input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。 |
| 実施期間 | 令和5年10月27日～令和6年2月29日（※委託期間） |
| 実施区域 | <p>後志・真狩留寿都区域 [支笏洞爺国立公園隣接]</p> <p>当該区域では主要作物のじゃがいもをはじめとした根菜類を中心にエゾシカの農業被害が増加している。エゾシカの多くは当該区域南側（胆振総合振興局管内洞爺湖町、豊浦町、伊達市大滝地区）からの流入個体と推測され、将来的には羊蹄山の貴重な高山植物帯への植生被害の発生も懸念される。このことから、羊蹄山の裾野のほか、当該区域南側において捕獲を実施し、個体数削減と流入抑止を図る必要がある。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p> |
| 関係機関との協力 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境省北海道地方環境事務所：捕獲事業における情報共有を図る。 ・後志総合振興局森林室：捕獲事業における情報共有を図る。 ・北海道立総合研究機構（エネルギー・環境・地質研究所：捕獲方法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・真狩村及び留寿都村：地元関係機関、地権者等との調整や現地確認、手続き等に対する助言・協力を行う。 |
| 事業の捕獲目標 | <p>（45%達成） =18頭（実績値）／40頭（目標値）</p> |
| 捕獲手法 | <p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p> |

| | |
|------------|--|
| 捕獲個体の確認方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影する。） <input type="checkbox"/> その他（ ） ※複数チェック可。 |
| 捕獲個体の処分 | 捕獲個体の処分について <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て化製場へ運搬し処理した。 ※複数チェック可 |
| 環境への影響への配慮 | わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。 わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。 鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。 鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。 |
| 安全管理の体制 | 捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。 受託者の内部にあっては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築させた。 捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布すること及びわな設置場所での啓発看板の設置などにより周知を図らせた。 捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。 |
| 捕獲従事者の体制 | 【雇用体制】 捕獲従事者数： 11人 （内訳） 正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制： 11人 |

3. 令和5指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

| 1. 捕獲に関する評価及び改善点※ | |
|--------------------|---|
| 【目標達成】 | <p>評価：真狩・留寿都地域では今回が初めて捕獲事業である。目標頭数には届かなかったが、個体数調整に有効なメスの捕獲が2/3を占めた。また、はこわなについては捕獲目標を4頭としたところ、4頭捕獲することができた。</p> <p>なお、捕獲開始が11月から実施となり、降雪前までは捕獲することができたが、本格的な降雪があった11月下旬(29日)以降は捕獲することができなかった。</p> <p>改善点：豪雪地帯である当該地域では降雪前の捕獲期間の確保が課題であり、秋季の捕獲実施期間をいかに確保するかを検討せざるを得ない。</p> <p>一方、ヒグマの活動期でもあることから、確認用カメラにヒグマが撮影された際は、速やかにわなを撤去するなど、設置場所の選定に工夫が必要である。</p> |
| 【実施期間】 | <p>評価：本格的な降雪後の捕獲が困難であることが改めて確認できたことから、降雪前後を見込んだ捕獲期間の設定は初年度としては適正と判断する。</p> <p>改善点：捕獲数の確保のためには、本格的な降雪前の捕獲期間を更に確保することが必要と考える。</p> |
| 【実施区域】 | <p>評価：国立公園への侵入防止及びそのために当該地への流入の未然防止という観点では、今回の捕獲実施区域は適正と考える。</p> <p>改善点：引き続き当該地での捕獲事業を継続し、国立公園への侵入防止対策を講じていく必要がある。</p> |
| 【捕獲手法】 | <p>評価：この区域では道路や民家が近いことから、銃器、大型囲いわなによる手法は困難であることから、くくりわなが適した手法と考えられる。</p> <p>また、当管内ではあまり実績のない、はこわなでの捕獲を試みたところ、捕獲目標の4頭を捕獲できたことから、今後、方法によっては積雪後の捕獲の可能性も予見された。</p> <p>改善点：はこわなの捕獲の際に、捕獲個体がいるにも関わらず、周辺の誘因餌に執着している個体が散見されていることから、更なる捕獲効率向上のため小型囲いわなの設置を検討したい。</p> |
| 2. 体制整備に関する評価及び改善点 | |
| 【実施体制】 | <p>評価：高い捕獲技術を有する団体と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察等を得意とする団体とがコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。</p> <p>改善点：今後もコンソーシアムによる事業実施となる場合には、コンソーシアム構成員間の連絡調整体制を確実に構築させる必要がある。</p> |
| 【個体処分】 | <p>評価：管内に有効活用できる団体がないことから、全頭処分した。</p> |

| | |
|--|---|
| | 改善点：他管内への搬出となるが、一部、ペットフードの利活用について検討したい。 |
| 【環境配慮】 | 評価：錯誤捕獲に対応するため、アライグマの捕獲許可を得て、捕獲があった場合でも適切に対応できるようにした。 |
| | 改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。 |
| 【安全管理】 | 評価：地域住民へのチラシによる事前周知、現地入口等での注意看板設置及び安全管理規定に基づく捕獲体制により実施した。 |
| | 改善点：ヒグマの活動期と重なる時期になるため、ヒグマの動向には細心の注意を払う必要がある。 |
| 3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし | |
| 4. 全体評価 当該地域では、初めての事業実施であり豪雪地域でもある当管内では、本格的な降雪前の捕獲作業とならざるを得なく、餌等の渴望期前の捕獲手法の確立が必要である。 そのため、今後も当該地域での捕獲作業を継続していくことにより、シカの出没状況や時期等に合わせた捕獲手法の確立に向け検討を行っていく必要がある。 | |

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

| |
|--|
| 道内で実施されているエゾシカ捕獲事業の主役は各市町村である。本事業を実施したことで、地元自治体に対し新しいタイプの捕獲手法を示すことができた。 当地においても、自動撮影カメラによるモニタリングや、ICT機器を活用した効率的な捕獲事業の進展を期待する。 |
|--|

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

| 項目 | 整備状況 | 備考 |
|----------------------|--|----|
| ①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報 | <input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ | |
| | <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ | |
| | <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） | |
| | <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない | |
| ②捕獲数 | <input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 | |

| | | |
|--------|--|--|
| | <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 () | |
| ③目撃数 | <input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数 | |
| ④捕獲努力量 | <input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数) | |

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

| | 作成できる概況図（地図）※についてチェック |
|-------------------|--|
| 捕獲位置の地図 | <input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない |
| GPUE の地図 | <input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> GPUE の地図を作成できない |
| SPUE の地図 | <input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない |
| 概況図を作成する 上での課題 | 特になし |

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： 人日

事前調査人日数概数※2： 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 人日

| 項目 | 令和5年度 (事業年度の 値) | 令和4年度 (前年度の値) | 増減の傾向 |
|--------------------|-----------------------|------------------|---|
| 捕獲努力量（銃猟） のべ人日数 | 人日 | 人日 | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 295 人日

事前調査人日数概数※2： 7 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 288 人日

| 項目 | 令和5年度 (事業年度の 値) | 令和4年度 (前年度の値) | 増減の傾向 |
|-----------------------------------|-----------------------|------------------|---|
| 捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日 数） | 4160 基日 | 基日 | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

| 項目 | 令和5年度 (事業年度の 値) | 令和4年度 (前年度の値) | 増減の傾向 |
|------------------------|-----------------------|------------------|---|
| ① 捕獲数 | 頭 | 頭 | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| ② 目撃数 | 頭 | 頭 | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| ③ 雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数) | | | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| ④ 幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数) | | | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

| 捕獲手法 | 捕獲実績 | 作業人日数 ※1 | CPUE※2 | SPUE※3 |
|-----------------------------------|------|-------------|---|---|
| <input type="checkbox"/> 誘引狙撃 | 頭 | 人日 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| <input type="checkbox"/> 巻き狩り | 頭 | 人日 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| <input type="checkbox"/> 忍び猟 | 頭 | 人日 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| <input type="checkbox"/> モバイルカリング | 頭 | 人日 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |

| | | | | |
|-------------------------------------|---|----|---|---|
| <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 | 頭 | 人日 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| <input type="checkbox"/> その他 () | 頭 | 人日 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 | 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

| 項目 | 令和5年度 (事業年度の値) | 令和4年度 (前年度の値) | 増減の傾向 |
|-----------------------|-------------------|------------------|---|
| ① 捕獲数 | 18 頭 | 頭 | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| ②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数) | 0.67 | | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| ③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数) | 0.33 | | <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

| 捕獲手法 | 捕獲実績 | わな稼働総数※1 | CPUE※2 |
|---|------|----------|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> くくりわな | 14 頭 | 4058 基日 | 0.003 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな | 4 頭 | 102 基日 | 0.039 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| <input type="checkbox"/> 囲いわな | 頭 | 基日 | 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |
| <input type="checkbox"/> その他 () | 頭 | 基日 | 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 |

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： (不明) 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。また、捕獲個体の尾を採取し、個体数確認を行っている。